

そうべつ議会だよ



第34回 昭和新山国際雪合戦

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 予算審査特別委員会	4
■ 一般質問	17
■ 薫風	20



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

No. 89

■ 2023年4月 ■

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

出産・子育て応援給付金事業を実施!!

令和5年第1回定例会は、3月2日から10日までの9日間の会期で開催されました。3名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。令和5年度一般会計予算についてなど議案19件、発議案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回臨時会

第1回臨時会は、2月1日に開催され、簡易水道事業特別会計補正予算ほか全3件について審議し、可決されました。

令和4年度壮瞥町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について
3,158万1千円減額

補正後の予算総額
3億2,636万円

道道洞爺湖登別線水道施設移設工事
3,158万1千円減額

質疑
道道工事の施工延長の縮減に伴い、町の水道施設工事も減額することだが、その原因は何か。また、どの程度縮減されたのか。また、全体の工期はどのくらい影響されるのか。

【答弁】

当該道道沿いの擁壁工事区間120mの経費が当初予定していたよりも増額となるため、次年度に先送りされたとのこと。また、全体の工事区間は1,450mあるが、令和5年度までの工事区間920mをもつて、一度、事業を完了し、未施工の530mは、令和7年度に実施する予定と聞いている。

第1回定例会

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員として、中山雄三氏を引き続き任命することに同意しました。

専決処分承認を求めることについて（令和4年度壮瞥町一般会計補正予算（第14号））
4,690万3千円追加

補正後の予算総額
43億9,375万2千円

除排雪業務委託料
4,352万1千円追加

【質疑】

今回の補正で令和4年度の委託料が7,399万5千円となるが、昨年度は大雪もあり6千万円を超える執行額で特別交付税措置があったが、今年度も特別交付税が措置されるのか。また、平成30年度、令和元年度に比べ、倍以上の経費となっているが、町財政に与える影響は。

【答弁】

冬期間の道路で事故のないよう、

【質疑】

近隣市町と比べ、丁寧な除排雪がなされていると感じているが、除排雪に対する町民からの苦情はあるのか。また、近隣市町の経費の状況は把握しているか。

【答弁】

大雪時には、除排雪に対する苦情は結構あるが、今年度は比較的に

通行者の安全確保を大前提として除排雪している。昨年のように一度に大雪が積もることはなかったが、降雪量は昨年同様で、連続的に降り積もることが多かった。特別交付税や臨時的な補助金については、必要な資料を提出しているが、措置されるかは未定である。



第1回定例会の様子

令和5年 第1回

少ないと承知している。冬期間の事故に繋がらないよう現状の除排雪を行っているが、住民の理解や近隣市町の経費の状況を含め、今後、除排雪のあり方について調査研究を行っていきたい。

壮瞥町火葬場条例を廃止する条例の制定について

壮瞥町火葬場について、本年3月31日をもって廃止することが決定されました。

令和4年度壮瞥町一般会計補正予算（第15号）について

1億3,299万3千円減額

補正後の予算総額

42億6,075万9千円

ふるさと応援基金積立金

2,950万円減額

工事発注状況

令和4年11月まで
() 内は予定価格

- 滝之町集落排水処理施設機器修繕工事
3,080,000円(3,201,000円)
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 久保内集落排水処理施設機器修繕工事
2,090,000円(2,256,100円)
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 仲洞爺集落排水処理施設機器修繕工事
5,280,000円(5,665,000円)
kingエンジニアリング(株)北海道支店



質疑

ふるさと応援寄附金が当初見込みより減少することのこただが、その原因と、次なる戦略の考えについて。

答弁

令和元年度に4,500万円だった寄附金は、令和2年度、3年度はそれぞれ1億2,000万円となったが、4年度は8,600万円に落ち込む見込みである。明確な原因を把握してはいないが、寄附内容と寄附額とのバランス、他市町村との競争の激化、また、返礼品を送った後のフォロー等色々な要素が複合した結果と考えられる。他市町村との違いや改善点等を整理して、次年度の取組に活かしていきたい。

持ち家住宅取得奨励交付金

100万円追加

質疑

持ち家住宅取得奨励交付金の執行状況について。

答弁

本年度の執行状況については、新築7件、中古6件の計13件に交付した。新築7件については、全て町内の方で、中古6件については、町内の方が2件、町外の方が4件という内訳になっている。

出産・子育て応援給付金事業

205万3千円追加

質疑

出産・子育て応援給付金事業の内容は。

答弁

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実と、妊娠・出産時の関連用品の購入費助成等の経済的支援を一体として実施するもので、出産・子育て応援ギフトで200万円のほか、事務経費を予算計上した。

伴走型相談支援は、妊娠されている方や子育て中の方を対象に相談・面談等の支援を行うものである。

また、出産・子育て応援ギフト

は、令和4年4月1日以降に、妊娠の届出をされた方に5万円、出産の届出をされた方に5万円をそれぞれ支給するものである。

新規就農者及び就農後継者就農助成金

250万円減額

農業次世代人材投資事業補助金

150万円減額

質疑

就農研修者の就農が予定されていたと思うが、年度内に就農に至らなかった理由は。

答弁

昨年7月に就農研修を終えられた方1名がおり、就農に向けた準備をしているが、まだ就農先が決まっていないことから予算を減額した。

壮瞥町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

国において、個人情報の保護に関する法律が改正されましたが、議会は同法の適用除外となるため、壮瞥町議会における個人情報の保護に関する条例を制定しました。

51億5,300万円 11億4,800万円の増

壮瞥中学校の移転整備事業を推進

■令和5年度壮瞥町各会計予算状況

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
一 般 会 計	5,153,000千円	4,005,000千円	1,148,000千円
国民健康保険特別会計	420,000千円	469,700千円	△49,700千円
後期高齢者医療特別会計	55,900千円	55,200千円	700千円
介護保険特別会計	399,900千円	387,800千円	12,100千円
簡易水道事業特別会計	376,400千円	345,100千円	31,300千円
集落排水事業特別会計	254,000千円	182,700千円	71,300千円
合 計	6,659,200千円	5,445,500千円	1,213,700千円

地域経済の活性化と将来への投資を積極的に進める
令和5年度予算総額66億5920万円を可決!!

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「令和5年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月8日から10日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、10日の本会議で可決しました。

一般会計

歳出

総務費

総務管理費

一般管理費

道職員派遣交流負担金

1,000万円

質疑

現任の道職員は、赴任してから2年が経過するが、現在取り組んでいる業務の現状は。

答弁

現任の道職員の派遣については、5年度も継続し、昭和新山地区の活性化の業務に取り組んでもらいたいと考えている。平成27年度の

観光活性化基礎調査を踏まえた取組を1歩ずつ進め、当該地区のビジョンをまとめている最中である

が、長年の懸案事項であり、行政の考え方だけで進められるものではなく時間を要しているが、適切な早い時期に議会等に説明していきたいと考えている。

役場庁舎等維持管理経費

1,768万7千円

質疑

電気料が高騰しているが、役場全体で節電に努める工夫はあるか。また、国の電気料高騰対策は反映されているのか。

答弁

節電を呼びかける取組を行っているが、節電では追いつかない程、電気料が高騰している

国の電気料高騰対策制度は、役場にも適用されている。

なお、5年度の町の施設全体の電気料の予算総額は約1億円で、対前年比36%増となっている。

質疑

庁舎清掃委託料について、役場庁舎や山美湖、他の施設の清掃業務をまとめて入札することで、コスト削減ができると思うが、考え方は。

答弁

清掃業務については、以前から検討してきたが、現状は、それぞれの施設ごとに委託契約している。役場庁舎と山美湖は同一業者となっているが、他の施設では、施設ごとに業務の内容にばらつきがあるため一律の業務委託とはなっていないが、競争性は保たれている。

質疑

草刈り業務の単価が一定でなく、高止まりしているように見えるが、委託先の工夫で、コストを下げることは可能ではないか。

一般会計予算総額は前年比

防災備蓄品の計画的な整備に、引き続き努める

【答弁】

草刈り業務の単価については、これまでの経過があり、契約先によって単価が混在している部分や、作業内容の違いもあり一律ではないが、将来的には明確になるよう整理していきたい。

役場庁舎内機器管理経費

761万2千円

【質疑】

5年度の計上はないが、4年度に導入されたクラウドPBXについて、使用上のトラブルの有無と、通信運搬費の現況について。

【答弁】

2月下旬に施工が完了し運用を始めたところであり、トラブルは発生していないが、今までと使い勝手が違うので、操作の手順を学びながら運用している。

通信運搬費は増加しているが、

行政側の対応の効率化や機能向上が図られ、また、住民の利便性の向上にも繋がるものであり、このことについては広報で周知していく。

職員福利厚生推進事業 産業医委託料

44万5千円

【質疑】

産業医の役割と仕組みについて。また、携わる医師の診療科は。

【答弁】

産業医は、年に1回の安全衛生委員会に出席し、担当職員と前年度の事業総括や当該年度の事業計画について協議を行う。また、庁内巡視や職場の衛生管理上の改善点の指摘等を行うほか、職員の検診結果での指導や面談等を行っている。

なお、本町の産業医の専門は内科であるが、産業医としての知識を有している。

諸費

諸費一般管理（表彰、広告、委員報酬）事業

283万9千円

【質疑】

永年在住表彰対象者の表彰式の参加者が年々少なくなっているように感じるが、今後、参加を呼びかける工夫や企画等の考えは。

【答弁】

永年在住表彰対象者の表彰式へ

の参加が少ないとは認識しており、交通手段等の理由であれば、職員による送迎対応をする等の対応をしているが、出席は個人の意思になるので難しい面もある。今後、参加を促進するための方法を検討していきたい。

防災諸費

防災諸費一般経費

768万2千円

【質疑】

5年度に予定されている防災備蓄品の内容を説明願いたい。

【答弁】

災害時に配布する食料の購入のほか、補正予算で、段ボールベッド、役場機能移転時の文書等運搬コンテナを予定している。

【質疑】

コミュニティFM放送について、防災意識の向上、啓蒙につながる内容になるよう、関係市町間で協議はなされているのか。

また、過去の被災時の経験談を含めて、民間の声を番組で取り上げて良いのではないかと。

【答弁】

年に1回、関係行政機関による打ち合わせの機会を持ち、予算や番組の運営内容について協議している。

防災無線では行政情報を流せるが、それだけでは生活情報等が十分伝わりづらい面もあるため、コミュニティFM放送で災害時の生活情報等を提供することで情報不足解消の一助になるものと考えている。また、過去の経験等を番組で取りあげる企画提案については、貴重な意見として伝えたい。



壮瞥町ゼロカーボンシティ宣言

ジオパークの再審査に向け、世界のジオパークとの連携を図る

質疑

コミュニティFM放送の必要性について改めて検討しても良いのでは。

答弁

経費的には、定期的に数百万円の費用がかかるため、利活用していくことが必要と考えるが、一方で、この事業から撤退する場合の影響についても、内部では並行的に検討している。

この事業は広域事業であり、仮にやめることになった場合の他の市町に与える影響や、国の許可事業であること等を多角的に検討していく必要がある。今後の利活用促進を図りつつ、将来的なあり方を同時並行で検討していく。

財産管理費

公共施設管理事業（指定管理者施設）

2,078万1千円

質疑

郷土資料館への郷土資料の収集を計画的に進めてほしい。また、本町発祥の雪合戦の展示があっても良いのではないか。

また、森と木の里センター天体観測施設の今後の活用の方向性は。

答弁

郷土資料館の活用については、雪合戦を含めた資料展示であれば、費用をかけず、可能だと思うが、映像を使うのであれば、予算の確保や、雪合戦実行委員会等との調整も必要と考える。

森と木の里センター天体観測施設は今後も活用したいと考えているが、社会教育分野との関連もあり、関係部署と検討していきたい。

質疑

仲洞爺野営場の公衆便所建替によつて、冬期間も使用可能な暖房を備えたものになるとの説明があったが、この施設の使い道は。

施設の活用については、専門の業者に委ねても良いと思うが。

答弁

冬場の利用については、現段階で、冬場のキャンプ場の開場等の意見もあるが、決まったことではなく、通年で利用は難しいと思うので、キャンプ場の開場時期を試行していくことになると思う。

トイレの建替は、冬場のキャンプを目的として行ったものではなく、夏場の利用者に対する快適なトイレ環境を整えたものであり、事業費を多少上乘せたことによつて冬場にも利用が可能になる施設になったもので、今後、関係機関とも協議しながら活用していきたい。

トイレの建替は、冬場のキャンプを目的として行ったものではなく、夏場の利用者に対する快適なトイレ環境を整えたものであり、事業費を多少上乘せたことによつて冬場にも利用が可能になる施設になったもので、今後、関係機関とも協議しながら活用していきたい。

財産管理事業 一般経費

2,316万2千円

質疑

町内の遊具施設の数。また、その管理体制について伺いたい。

答弁

町内には15施設あり、内訳は、団地にある児童遊園が7カ所、子どもセンター等の福祉施設に3カ所、学校施設に3カ所、町民公園と情報館に各1カ所となっている。

維持管理については、各施設の担当職員や管理委託している業者が点検しており、危険と思われるものは、その段階で使用中止する。軽微な修繕は早急に対応し、また、大規模修繕は、予算措置後の対応となるが、今後も適切に対応していく。

企画費

企画費

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会負担金

391万1千円

質疑

世界ジオパーク大会参加と認定審査に係る予算増の具体的な内容について。また、学術専門員の業務内容は。

答弁

5年度は、ジオパーク世界大会（モロッコ開催）・アジア大会・全国大会の参加経費全体で211万9千円のうち、本町負担分が53万円である。

ジオパークの再審査は、7月から8月頃に予定されており、これに係る経費全体で170万円のうち、本町負担分は43万3千円である。

学術専門員は、学術的な調査研究・発表のほか、情報の整理・発信・活用方法の検討等を業務として行っている。

質疑

モロッコで開催されるジオパーク世界大会に参加する意義は。

持ち家住宅取得奨励金・交付金を継続し、活用を促す

【答弁】

再審査では、世界のジオパークとの連携が求められており、また、中国内のジオパークとの姉妹連携を模索していることから、世界大会に参加し、積極的に他国との関係性を作っていくことが大切であると考えている。

定住促進・まちづくり推進事業

9,618万6千円

【質疑】

移住体験ハウスの利用実績とアンケート結果について

【答弁】

4年度は8組が利用しているが、実際に移住までには至っていない。また、アンケート結果は、住宅情報が少なく、住める住宅がないのが残念である、との回答が多く、また、施設や温泉、自然環境については高評価を受けている。

**持ち家住宅取得奨励金
(商工会商品券)**

200万円

持ち家住宅取得奨励交付金

400万円

空き家改修・整理補助金

60万円

【質疑】

4年度の実績では、当初予算を何度か補正した結果、持ち家住宅取得奨励金・交付金で1,000万円を超える見込みで、また、空き家改修・整理補助金も120万円程とのことだが、5年度では、ニーズ拡大の想定はしていないのか。

【答弁】

5年度の当初予算は、2年度、3年度の実績を参考に計上した。予算に不足が生じるようであれば、再度補正により対応していきたい。

**民間賃貸住宅建設助成事業
助成金**

8,400万円

【質疑】

助成の対象として、今年オープンするリゾートホテルの社宅との説明を受けたが、建設規模は。

【答弁】

助成金の内訳は、リゾートホテルの社宅1棟3階建50戸に対し7,500万円、場所は昭和山入

リ口横のレストランの隣地に現在建設中である。もう1つは、仲洞爺地区に建設予定の社宅1棟5戸に対し900万円となっている。

地域おこし協力隊事業

6,095万1千円

【質疑】

商工観光枠で採用する地域おこし協力隊には、どのような活動をしてもらう考えか。

【答弁】

壮瞥町の農産品・特産品の販路開拓、また、新商品開発にも携わってもらいたいと考えている。

具体的には、イベントでのPR活動を中心とした情報発信等に携わってもらう考えである。

【質疑】

協力隊の1年間の任期延長はコロナ禍で思った活動ができなかったためか。それとも、起業することができなかったためか。

また、5年度では、新規就農枠で1名を採用予定とのことだが、従来の新規就農制度との待遇等の違い、整合性をどのようにとらえているのか。

【答弁】

任期延長の理由は、コロナ禍の影響で活動に制約を受けたことで、隊員からは1年間の任期延長の希望があった。

新規就農枠での採用については、新規就農のあり方を見直す検討委員会、既存の研修制度の課題である期間の短さ、資金面の厳しさ等の意見があったことから、地域おこし協力隊制度を活用した新規就農者の採用を試みることにした。



サウナ体験会

より良い地域公共交通のあり方を検討

具体的な内容については、まだ検討段階だが、施設栽培農家を中心に受け入れて頂き、新規就農につなげたいと考えている。

胆振線代替バス運行維持費補助事業

1,011万8千円

質疑

代替バス運行に係る基金減少による時間調整、減便等は理解するが、地域住民は不便を感じている。特に高校生の通学に影響があり、今後の地域公共交通のあり方は、本町のまちづくり、移住・定住対策にとって大変重要だと思うが、これに対する認識と今後の取組の考えは。

答弁

地域コミュニティの維持や移住・定住対策にとって、地域公共交通は、非常に大きな役割を果たしていることを認識している。

今後は、財源対策を含め北海道への要望活動を進めるとともに、地域公共交通計画で、早朝のコミュニティタクシーの活用等、様々な方策を位置づけ、財源確保をした中で、より良い地域公共交通の

あり方を検討していきたいと考えている。

民生費

心身障害者福祉費

障害者自立支援費

100万円

介護給付・訓練等給付費扶助費

1億7,296万円

障害児通所給付扶助費

1,089万6千円

質疑

それぞれ予算額の内訳を伺いたい。

答弁

障害者補装具給付費扶助費は、4年度には意思伝達装置等の特殊な補装具購入のケースもあり、補正後予算が500万円となったが、5年度は対象者を8名と見込み、例年並みの100万円を計上した。介護給付・訓練等給付費扶助費は、4年度は対象者が65名であったが、現在は59名と把握しており、前年度当初と同額の1億7,296

6万円を計上した。大まかな内訳としては、居宅介護、施設生活介護、施設入所支援を含む介護給付費で7,800万円、就労継続支援A型・B型、グループホーム、訓練計画支援を含む訓練等給付費で9,400万円となっている。障害児通所給付費扶助費では、4年度は対象児童が10名であったが、5年度は13名に増える見込みで、1,089万6千円を計上している。

児童福祉費

児童措置費

管外入所負担金

324万8千円

子育てのための施設等利用給付負担金

302万8千円

質疑

それぞれの予算額の内訳を伺いたい。

答弁

管外入所の対象児童は伊達市に1名、洞爺湖町に3名、計4名を見込んでいます。

子育てのための施設等利用給付負担金は、認可外保育施設の利用のことで、伊達市に7名、豊浦町に1名、計8名を見込んでおり、それぞれ予算計上した。

衛生費

保健衛生費

予防費

予防事業一般事務経費講師謝礼

1万8千円

質疑

自殺予防対策研修会の実施に向け、講師謝礼を予算計上しているが、その内容は。

答弁

講師は精神保健福祉士を予定している。研修会の対象者は、町内の病院、福祉施設職員の専門職を対象に、2回開催する予定。

予防接種委託料

645万9千円

質疑

予防接種委託料が増額となっているが、ロタウイルスや子宮頸が

生活習慣病検診の受診率の向上に取り組む

んの予防接種の状況は。

【答弁】

予防接種委託料は97万円増となっているが、ロタウイルスの予防接種の対象者を15名から20名に、子宮頸がんの予防接種対象者を2名から7名に増やしている。いずれも対象者を増やしたことで、予防接種の単価が高いたくが増額の要因となっている。

**乳幼児・母子の保健事業経費
乳幼児用検診視力検査機器購入**

25万8千円

【質疑】

乳幼児用の視力検査機器を購入するとのことだが、その内容は。

【答弁】

当該機器は、近視、遠視、乱視等が検査できる機器で、価格は150万円程度であるが、西胆振3町での共同購入を予定しており、負担割合は人口割で、壮瞥町の負担は25万8千円。

**生活習慣病検診血液検査
委託料**

187万円

【質疑】

生活習慣病検診血液検査委託料が減額となっているが、その理由は。

【答弁】

4年度の検診の状況は、国民健康保険被保険者では、対象者426人中153人が受診、後期高齢者では、対象者486人中150人が受診、全体での受診者が303人であったことから、予算では前年度比120人減の360人との想定により計上した。

【質疑】

生活習慣病検診の受診率を高める方策が必要と考えるが。

【答弁】

受診率を高めるための広報活動として、町ホームページの活用等を行っているが、今後、周知方法の改善等により、できるだけ受診率が高まるよう努力したい。

【質疑】

予防接種や生活習慣病検診は、国の補助もあつて、壮瞥町の検診は職場等での検診よりも検査項目

が多く、お得感があることが、町民に理解されていないのではないかと。

町民の健康づくりを積極的に支援していく取組として長い歴史があり、その経緯を踏まえて受診率向上に取り組まれることを望みたい。

【答弁】

受診率向上の実現に向けて取り組みたい。

温泉管理費

弁景54年泉源インバーター
設置工事

1,078万円

弁景温泉N02タンク
ヘッダー化改修工事

2,822万6千円

【質疑】

弁景温泉の各種工事に取り組まれるが、その内容は。

【答弁】

インバーター設置工事は、汲上げポンプにインバーターを取り付けることで回転数を制御し、汲上げ量を調整できるようにするもの

清掃費

塵芥処理費

塵芥回収委託料

1,741万7千円

で、これにより高効率化が図られ、消費電力や二酸化炭素の排出量を大きく削減できる。
タンクヘッダー化の工事は、既存の古いタンクを密閉して管路にすることで、温度低下等を防ぐことができる。



そうべつ保育所 節分

りんごまつりの開催方法を見直し、新たな方式を模索

資源ごみ回収委託料

2,384万9千円

質疑

委託料の増額要因は何か。また、予算を計上するにあたっての事業者との協議は行っているのか。

答弁

前年度比で労務費や車両運行の燃料費、タイヤ等の値上げが要因である。予算の算定に当たっては、事業執行に必要な経費について、事業者等との協議を行い、できる限り低廉となるよう努力していることをご理解いただきたい。

農林水産業費

農業費

農業委員会費

農業委員会活動促進事業

370万4千円

質疑

農業委員会の改選期に向け、2月と3月にそれぞれ募集しているが、その内容について。また、農地利用最適化推進委員を置かなく

てはならない場合について。

答弁

募集人員8名に対し、当初6名からの応募があり、3月の再募集で1名応募があり、現在、トータルで7名が応募している状況である。

農地利用最適化推進委員については、担い手農地利用集積率が70%以下、かつ、町内農地の1%以上の遊休農地がある場合は置かなければならない。3年度の状況では、遊休農地は1%以下であるが、農地集積率が66.2%であったことから、このままであれば推進委員を置かなければならない可能性があるため、農地利用集積率のとりまとめ作業をしているところである。

質疑

今後の農地の集積化や遊休農地対策は。

答弁

本年度から農業委員の活動をポイント制で評価をするというシステムを採用している。具体的には、遊休農地のパトロール、農地の貸

借や売買の意向等を集約して希望者に伝えるといった活動を行っており、今まで以上に、農業委員として現地の状況や地域の状況を見ていく対策をとっている。

農業振興費

一般農政事業

341万1千円

質疑

5年度、りんごまつりの開催は。

答弁

りんごまつりの予算は、当初予算では計上していないが、選挙後の補正予算での計上を予定しており、中止するというのではない。現在、役場、農協、果樹組合で実施方法について検討しており、会場や駐車場のスペースの問題、コロナウイルス等への衛生対策の必要性など課題が山積しているが、これまでの方式を見直し、道の駅等の特設会場を活用したスタンプリー方式での開催や期間を長めに設ける等の意見が出されており、これらを集約し、開催できるような方向性を検討していく。

青年農業者組織育成支援事業補助金

10万円

質疑

青年農業者組織の活動実態について。

答弁

YFC壮瞥という若い農業者組織があり活動を支援している。活動実態は、先進地の視察や勉強会の開催等をしている。

持続的農業経営推進事業補助金

185万円

質疑

昨年、堆肥を施用する時期に、不足して供給ができなかったという話があったが、今年は堆肥を十分に供給できる状況にあるのか。

答弁

昨年の春先は、水分が多く含まれた堆肥原料が搬入されたため、堆肥が完熟するまで非常に時間がかかり、春先の供給に間に合わなく、多くの方に迷惑をかけた。堆肥原料の水分が多い場合、木

堆肥供給が滞ることのない生産に努める

くずを投入して水分を調整するが、世界的な木材不足の影響により木くずが手に入りにくかった。

今年度は、雪が降る前から町内から堆肥原料を搬入したり、木くずを手配する等の対策をとっている。

経営発展支援事業補助金

375万円

質疑

5年度の事業内容は。

答弁

国の補助制度で、新規就農者として営農される方に、機械の整備等のため、上限額500万円の事業費に対し4分の3を補助するもの。

堆肥センター運営事業

3,692万1千円

質疑

令和4年1月末の堆肥原料の搬入量が前年度より少なく、生産量も減っているが、今後の堆肥製造への影響は。また、販売の取組は。

答弁

堆肥の販売状況は、元年度68

2万3千円、2年度876万8千円、3年度572万5千円であった。

2年度は、コロナウィルス感染症対策費を活用した堆肥助成を行った関係もあり、例年並みの販売となったが、3年度は供給不足等により売り上げが落ちた。4年度の最終実績はまだ出ていないが、前年度以上になるものと見込んでいる。堆肥の供給が滞ることのないよう生産に努めていく。

堆肥実証ほ設置委託料

25万円

質疑

5年度の事業内容は。

答弁

4年度から実施しているが、従来の肥料を使った圃場と、その一部を堆肥と置き換えた圃場で、プロットコリーの収穫の比較結果を2月町広報誌で報告している。試験栽培に際しては、普及センターのアドバイスも受けており、その結果に関して評価を頂いている。

試験結果は、まだ1回しか得られていないが、5年度以降も、プロット

コリーで継続する予定だが、色々な角度からの比較試験が必要と考えており、他の作物も検討していることを考えている。

質疑

堆肥の効能を広く知ってもらうことが狙いだと思うが、壮瞥高校にお願いすると、色々な作物で幅広い試験ができ、また、細かい調査結果を残せるのではないかと。生徒が色々な経験をすることで、これからの農業の未来像や想像力が豊かになると思うが、いかがか。

答弁

壮瞥高校での試験については、5年度の教育計画や農場計画についてもほぼ固まっている状況にあり、すぐに試験を実施することは難しいが、協力して進めることができるのか検討したい。

質疑

堆肥生産の効率化や、生ごみ堆肥の製品化・販売の考えについて伺いたい。

答弁

堆肥生産工程の効率化は製造業



スノーシュー体験会

としても大事なところで、色々な所の見直しだと品質を維持しながら、コストを下げる努力をしていきたい。

また、生ごみ堆肥の製品化、販売に関しては、苗木を栽培している農業者や壮瞥高校の実習に提供している実績があるので、生ごみ堆肥への理解を得られ、使ってもらえるよう、販売に力を入れていきたい。

情報通信環境整備による農業の見える化を推進

情報通信環境整備対策事業

167万9千円

質疑

5年度の実績は、2月までの報告で、猟友会で捕獲したのはエゾシカ200頭、アライグマ57頭、キツネ10頭、カラス33羽である。また、鳥獣対策協議会では、国費を活用した駆除を実施しており、エゾシカ100頭のほか、害獣駆除として、アライグマ98頭を捕獲している。

答弁

5年度は、6年度以降に予定している施設整備事業の円滑な導入に向け、北海道の補助事業を活用したリーフレットの作成やワークショップの開催等を通じて、農業者の参加による普及促進に取り組む。

情報通信環境の整備によって、農業の見える化を推進し、さらなる農業経営の振興に繋げて、豊かさや未来の展望ができる農業を実現していきたいと考えている。

町営牧場維持管理事業

436万7千円

質疑

牧場統合の課題解決に向けた取組状況について。

答弁

現在、上久保内牧場では、牧場の敷地の半分程度を牛が利用しているが、他は使用していないため、立香牧場を利用して馬を飼育する。上、施肥や必要なメンテナンスの実施を考えており、また、補助事業の活用も検討している。

立香牧場については、観光など多角的な面での利用の検討を進めている。

立香牧場の廃止に伴う活用や課題について、早急に結論を出さなくてはならないのでは。

質疑

立香牧場の廃止に伴う活用や課題について、早急に結論を出さなくてはならないのでは。

答弁

立香牧場の利用者にも廃止に向けた説明をしている。具体的な時期は言えないが、早急に検討を進めていきたいと考えている。

林業費

林業振興費

有害鳥獣駆除協力謝金

100万8千円

鳥獣被害防止総合対策事業補助金

135万円

4年度の実績と、今後の取り組みについて。

質疑

4年度の実績は、2月までの報告で、猟友会で捕獲したのはエゾシカ200頭、アライグマ57頭、キツネ10頭、カラス33羽である。また、鳥獣対策協議会では、国費を活用した駆除を実施しており、エゾシカ100頭のほか、害獣駆除として、アライグマ98頭を捕獲している。

捕獲数については、捕獲枚数の増に向け、北海道等と協議していくほか、センサー付のくくり罠を活用し、効率良い捕獲に繋げていきたい。

害獣駆除委託料

168万3千円

質疑

5年度の事業内容は。

答弁

アライグマ（外来種）駆除が目的で、町所有の函罠を希望農家に貸し出し、捕獲後の処分を業者に委託しているもので、200頭分

を計上している。

森林環境譲与税関係 手数料

418万円

質疑

5年度の土砂上げ箇所及び規模について。

答弁

土砂上げ箇所は、毎年、農業の予算で土砂上げしている水路よりも滝之町寄りで、畑が切れた場所を流れている水路。土砂上げの土量は233m³で、区間は70～80メートル。

林道維持費

林道維持補修経費

678万5千円

質疑

5年度の事業内容は。

答弁

林道では、近年、大雨による被害が多発していることから、予防的な保全に努めるため、前年度より360万円程の予算増としている。事業内容は、駒別林道と東湖畔林道で3カ年での砂利道の整正等を

町道滝之町中島1号線事業の完了を目指す

計画しており、5年度は、駒別川から上久保内牧場までの1,780mの路面整正を実施する予定。なお、6年度では駒別林道で2,520m程度、7年度では東湖畔林道で1,700m程度を計画している。

商工費

商工費

観光費

オロフレスキー場電気設備改修工事

85万円

質疑

質疑

オロフレスキー場の存続について。

答弁

現状、大規模修繕はないので、今後も安全運行のための維持管理を最優先に考え、修繕を繰り返し、可能な限り存続していきたい。

壮瞥町アニメ推し観光プラン
ド創出事業委託料

200万円

質疑

5年度の事業内容は。

答弁

りんごに関わるアニメキャラクターがブームになっており、専門業者に企画やアイデアを提供してもらい、壮瞥町の色々な誘客に繋げていく趣旨の事業である。

洞爺湖園地船揚施設管理
委託料

122万4千円

質疑

適正利用を呼びかける対策によって利用者のマナーが改善されてきているが、今後の取組について伺いたい。

また、園地内のトイレを改修する考えはあるか。

答弁

年々、ルールやマナーを守って利用している方が多くなってきたおり、今後も、洞爺湖適正利用推進連絡協議会や警察と連携、協力して適正利用を呼びかけていく。トイレの改修については、今後の園地のあり方等を勘案し検討していく。

土木費

道路橋梁費

道路新設改良費

道路新設改良費

1億3,539万9千円

質疑

町道滝之町中島1号線の事業完了年度の予定は。

答弁

5年度が事業の最終年度になるため、事業完了に必要な国費の要望をしており、事業完了に向けて努めていきたい。

消防費

消防費

消防費

消防負担金

1億9,952万2千円

質疑

高規格救急車の更新事業の内容は。

また、西胆振地区消防指令セン

ター整備事業の内容は。

答弁

高規格救急車は、消防本部の車両計画に基づき定期的に更新されるもので、5年度は3,600万円の事業費で、壮瞥支署に配備される予定。なお、事業費については壮瞥町が負担する。

西胆振地区消防指令センター事業については、登別市を含めた胆振西部3市3町の指令センターを整備するもので、これに係る本町負担分は100万円となる。



山美湖大学

高規格救急車の更新と消防司令センターの整備

教育費

教育総務費

教育委員会費

学校給食運営事業

1,600万1千円

質疑

保護者負担の学校給食費が、5年度10%値上げに至った経緯は。

答弁

物価高騰の影響を踏まえ、学校給食運営委員会で協議し、止むを得ないとの判断に至った。

小学校費

教育振興費

要保護・準要保護児童援助費

311万5千円

質疑

援助費には、給食費も含まれているが、全児童生徒の給食費を減額する措置は取れないか。

答弁

子育て支援を含め、政策全体の中で、財政状況を考查しながら検

討したい。

中学校費

学校建設費

壮瞥中学校建替事業

8億9,552万8千円

質疑

壮瞥町では小中一貫校を目指しているとのことだが、義務教育学校を目指した方が良いのではないか。

答弁

長年取り組んできた小中連携を基盤として、小学校に中学校を併設する形で、義務教育学校に準じた小中一貫校を目指している。今後の児童生徒数の推移を踏まえて、小中一貫校と義務教育学校には、それぞれの良さがあるので、将来の本町の目指す教育を検討していきたい。

質疑

教育委員会の管理職が長期病氣療養状態になっている件について事業執行に影響がないか関連で伺うが、当該職員が長期病氣療養に至った原因と経緯について伺いた

い。

また、今後の対応をどのように考えているか。

答弁

長期病氣療養に至った経緯については、内部調査を実施した結果、行き過ぎた業務指導によるものと判断したところであり、関係者への処分については適正に対処していきたい。

再発防止に向けては、職員へのアンケート調査を実施し、記録に残した上で、迅速かつ適切に対応できる体制強化を図り、職員が、やりがいを持って、働きやすい環境づくりの推進が重要と考えており、これに努めていきたい。

高等学校費

高等学校総務費

高等学校教育振興事業

364万3千円

質疑

地域農業科に学科転換し、地域に貢献できる高校として、教職員の努力により運営されてきたが、今後の壮瞥高校の運営についての考えは。

答弁

地域に貢献できる管内唯一の高校を目指したい。

質疑

新入学生が2年連続で20人以下だが、この状況を踏まえた上で、今後の考えを伺いたい。

答弁

中学を卒業する生徒数が年々減少しており、また、コロナ禍により、生徒の募集活動が十分にできなかったことがこの状況に至った原因と考えている。今後は、魅力的な教育内容と、3年間で力をつけ卒業させていく高校の実現に向け、教職員と力を合わせ、教育内容の充実にも努めていきたい。

歳入

町税

固定資産税

2億2,218万7千円

質疑

増額の要因は。

答弁

償却資産（土地・家屋以外の事

町税収入の大幅増を見込む

業の用に供することができ資産（）について、新しく工場が建設されたこと等により増額となった。

町たばこ税

2,200万円

入湯税

5,670万円

質疑

それぞれ増額となった要因は。

答弁

たばこ税に関しては近年増額傾向にあり、4年度も着実に増えており、さらなる増額を見込んだ。入湯税についても、近年の伸び率に加え、新規施設分を加味して計上した。

使用料及び手数料

農林水産使用料

農業研修シェアハウス使用料

72万円

質疑

入居者が少なかった3年度、4年度と同額が予算計上されているが、減額して計上すべきでは。

答弁

5年度は、入居者及び利用の問

い合わせが多数来ていることから、それらを見込んで予算計上したものである。

土木使用料

住宅使用料滞納分

100万円

質疑

住宅使用料の未納分や滞納分の解消に向けた対策は。

答弁

未納者や滞納者に対しては、督促や催促はもちろん、面談や返済の計画納付の相談等を行い、収納率の向上に務めている。

繰入金

財政調整基金繰入金

1億4,000万円

質疑

今後の町財政運営の考えは。

答弁

5年度は、リゾートホテル社宅建設に対する助成事業のための財政調整基金の繰り入れが大きいが必要投資と考えている。固定資産税・住民税の増や、他の経済効果も生まれると捉えており、基金

は、使えるときは使い、抑える時は抑えるといった対応をしていきたい。

町債

教育債

壮瞥中学校建替事業

7億2,430万円

質疑

中学校建替事業に係る起債の償還期間は。

答弁

借入先により変わるが、今の想定では、起債後、3年間据え置き（利息のみ支払い）、その後の償還期間は25年となっている。

質疑

関連で、久保内小学校の今後について伺いたい。

答弁

現在休校中であるが、文部科学省の補助金の処分制限期間が残っているため、現時点では廃校とはならない。また、現在、避難所にも定められており、町全体としての利用も考えられるので、今後、

地元とも継続して協議していく。

国民健康保険

特別会計

歳入

国民健康保険税

6,179万9千円

質疑

北海道が保険税の平準化を進めていると思うが、現状はどうなっているか。

答弁

平成30年から北海道と各市町村による共同運営となった。医療費が北海道から交付され、それに見合った事業負担金を北海道に収める仕組みとなっている。また、令和8年を目途に保険税算定方式の全道一律化が進められている。

歳出

保険事業費

国保ヘルスアップ事業費

医療費適正化委託料

931万3千円

令和8年を目途に国税算定方式を全道一律化

質疑

増額の要因は。

答弁

4年度は、国保のみの分析だったが、5年度は国保及び後期高齢者の分析も行う予定であり、さらにデータヘルス計画に係る業務も委託するため。

介護保険
特別会計

歳入

国庫補助金

保険者機能強化推進交付金
70万円

介護保険保険者努力支援交付金
70万円

質疑

この交付金の内容は。

答弁

市町村の自己点検・評価を基に判断され、点数が高いところには、より多くの交付金が配布される。（壮瞥町は1,492点で道内5番目）。

簡易水道事業

特別会計

歳出

総務費

総務管理費

一般管理費

地方公営企業会計法適用化
委託料
647万9千円

地方公営企業法適用化負担金
337万5千円

質疑

地方公営企業会計法の適用化に対応するための委託料や負担金について、町財政に対する負担が大きくないか。

答弁

6年度から地方公営企業会計法の適用を受けることとなり、適用化に係る経費は多額となっているが、委託料や負担金については、公営企業適用債の対象となるため、最終的に特別交付税の対象となる。

自治功労者表彰の受賞

長内議長と松本議員が、町議会議員として満27年以上在職し地方自治の発展に功労があつたと認められ、令和5年2月8日に全国町村議会議長会会長から表彰されました。3月3日の第1回定例会前に長内議長には森副議長から、松本議員には長内議長から表彰状が伝達されました。



自治功労者（議員27年以上）表彰

壮瞥町議会の本会議をYouTube(ユーチューブ)でご覧になれます!!



YouTube 壮瞥町議会



で検索

【2期目の施策取り組みについて】

Q 夢無き者に成功なし!!
取り組みの姿勢を問う

A 理想を心に刻み、次世代に
明るい未来を提供したい



松本 勉

ら、担い手育成・支援体制の継続的な充実・強化に努めたい。

そのためには、現農業経営者の経営の効率化や安定化が重要と考えており、地域農業を支え、牽引する意欲と能力のある経営体を着実に育成・確保していきたいと考えている。

保していきたいと考えている。

将来を見据えた農業振興施策
①スマート農業について

で発展性のある農業・農村地域を創生したい。

情報通信技術を活用し、本町の身の丈に合ったスマート農業を推進したいとされているが、今後の取り組みを伺いたい。

②担い手育成・確保について

就農相談から研修・実習の受け入れ、就農後の技術習得や経営管理能力の向上研修など、体系的で一貫した担い手育成・支援体制の取り組みについて伺いたい。

町長

これまでの実証の成果を基に、生産者の方々の意見を踏まえながら、技術導入の優位性や利便性とともに、設備導入時や維持管理等の経費についても周知を図り、6年度以降の具体的な実装により多くの生産者が参加されるよう普及啓発を進める。

特に「経営の見える化」に繋がるスマート農業技術を導入することで、省力化はもとより、さらなる美味しさの追求を図るなど、大量生産にはない、きめ細やかなブランドイメージを創設し、持続的

町長

今年度、関係機関・団体で構成する「新規就農者支援措置の見直しに係る会議」を設置し、よりきめ細やかなサポート体制について議論を重ねており、事前の農業体験期間の導入、審査方法や研修期間の見直し、後継者のいない農場の経営継承の在り方などについて協議・検討している。

今後とも、適宜適切に生産者をはじめ、関係者の理解を深めなが

議員

③持続的農業経営推進について

地力維持・増進について、また、堆肥施用を含め、土づくりを通じた付加価値の高い農業生産の取り組みについて伺いたい。

町長

土地は農業生産活動の源であり、生産性や品質の向上を図るために、輪作の導入や堆肥の施用など、地力の維持・増進を図る取り組みを通じて、健康な土づくりを進めることが重要であるとともに、有機資源の循環利用にも貢献するものと考えている。

環境と調和した持続的な農業を推進するとともに、栽培条件などの見える化にスマート農業技術を導入することで、品質の向上や安定生産が図られると考えており、



壮瞥中学校 卒業式

大量生産の農業にはない、きめ細やかな農業生産のストーリー性を創生するなどして、地域農畜産物のポテンシャルに更なる付加価値を醸成し、本町農業の振興を図りたいと考えている。

このほか、「財政収支改善と今後の見通し」、「ポストコロナを見据えた商工・観光振興施策」、「防災先進地域を目指す取り組み」、「本町が目指す小中一貫教育」について質問し、議論を交わしました。

【町無形文化財獅子舞の保存継承】

Q 録音・映像記録保存、継承のための新組織を

A 保存会等と協議取り組む



佐藤 志

について取り組む考えです。

Q 早急に音・映像の記録保存

A 保存会の協力を得て

議員 町内の無形文化財保存継承で教育執行方針で「仲洞爺獅子舞、久保内獅子舞などの伝統活動を支援してまいります」と述べているが、どのような支援をしているか。

教育長 毎年、教育委員会から壮瞥町文化協会に補助金を交付し、各団体の活動への支援を実施している。

議員 この支援としての補助金額と各団体への配分は。

生涯学習課長補佐 毎年、交付金額は13万円で、組織する12団体で配分基準を設け配分していると承知している。

議員 各団体への配分額は1万程度で支援しているのですか。
町の無形文化財に指定している仲洞爺、久保内獅子舞の現状をど

のように認識しているか。

教育長 3年間はコロナ禍により、各獅子舞の発表の場が全てなくなり、それに伴い練習する機会もなく、ほぼ活動ができない状況と聞いています。

議員 昨年各地域で開催の町政懇談会で出された地域ごとの課題が広報そうべつで報告があり、その中で仲洞爺では「獅子舞保存継承で、子どもたちがいなくなり、地域の高齢化が進んでいるため獅子舞の保存継承に悩んでいる」との報告がありました。教育委員会の今後の取り組みは。

教育長 久保内獅子舞は、感染症等の感染拡大を防ぎながら活動を再開。仲洞爺獅子舞は少子化に伴い活動が厳しいと伺っており、団体と協議して保存方策、支援の在り方

議員

仲洞爺獅子舞保存継承の危機は昭和50年代当初、仲洞爺小学校の統合時、そして今回と2度目。

いずれも地域に子どもが少なく又はいないことがその要因で、今回は伝承者の高齢化が加わり、今真剣に考える必要があります。

伝承保存方法の取り組みが遅れると、伝承が年々難しくなります。その対策として「笛」「太鼓」「鉦」等の音の記録保存とその「音符化」更に獅子の舞い方、子どもが演じる花笠の3人の舞い方、薙刀(なぎなた)の舞い方等の映像による記録作成と保存が急がれると考えます。

生涯学習課長補佐 記録として残すことは大切であり、保存会と協議、取り進めたい。

議員 地域の少子高齢化による伝承活動が困難、また将来予想されるこ

とから、町全体での保存継承活動が必要では。現在の地域から町全体で、仮称「壮瞥町無形文化財保存会」を組織、目的を町無形文化財の保存継承活動とし、現在の保存会のメンバーは勿論、会員を募り広く町全体で取り組むことが必要では。

生涯学習課長補佐

提案された事項を参考にし、獅子舞保存会、文化財審議会等関係するみなさんと協議し取り組みたい。

教育長 保存会発刊の記念誌で勉強中ですが、歴史ある獅子舞の伝承継承は大切であるとの認識で、保存会等と協議して取り進めたい。



壮瞥高校 卒業式

【子育て支援策について】

Q 待機児童の解消と
保育士確保の取り組みは

A 1歳児クラスの増員、
保育士確保の新たな取り組み検討



菊地敏法

人材派遣会社への依頼や、
職場環境の改善に取り組
むべきでは。

住民福祉課長

議員
そうべつ保育所の令和5年度の
入所申請数の状況は。

クラスと2歳児クラスで合わせて
18名の定員を変更することは難し
い状況である。

住民福祉課長

0歳児定員3名に対し申請児童
1名、1歳児6名の定員に対し、
申請児童11名、2歳児12名の定員
に対し申請児童7名、3歳児以上
については、3歳児14名、4歳児
15名、5歳児11名の計59名の申請
を受け付けている。

議員

保育士確保の取り組みは。

住民福祉課長

議員
令和5年度は1歳児クラスで5
名が待機児童になっているが、定
員数を増やすことは出来ないのか。
住民福祉課長

職員の配置基準のほかにも、子
どもの年齢に応じて、保育室の面
積基準が設けられており、1歳児

議員

新たな保育士確保の考えとして、

ハローワークへの求人掲載や新
聞折り込みなど、これまでの取り
組みに加えて、札幌や室蘭市内の
保育専門学校や短期大学、大学を
個別に訪問し、保育士確保に積極
的に取り組んでいる。

人材派遣を活用している自治体を
参考に、少しずつ調査を始めてい
る。

また、職場環境については、国
の「保育分野の業務負担軽減・業務
の再構築のためのガイドライン」
を参考に、保育のICT化を今後
に向けて、少しずつ調査・研究を
進めていく考えである。

議員

「出産・子育て応援交付金」が
創設され、ギフト支援と伴走型相
談支援を一体で取り組むことにな
っているが、相談支援体制は、整
っているのか。

また、円滑に相談ができるよう
に、SNSなどの活用の考えは。

住民福祉課長

令和3年4月に子育て世代包括
支援センターを立ち上げ、妊産婦・

乳幼児等の状況を継続的・包括的
に把握し、妊産婦や保護者の相談
に保健師等の専門家が対応すると
ともに、必要な支援の調整や関係
機関と連絡調整するなどして、妊
産婦や乳幼児等に対して切れ目の
ない支援の提供体制を整えている。
また、SNSなどの活用について
は、手軽に情報を収集、発信でき
る手段であるので、他自治体の取
り組みを参考にしながら、実用化
に向けて調査・研究を続けていき
たいと考えている。



壮瞥小学校 卒業式

『昭和新山国際雪合戦大会』

総務委員会女性部の役割は

総務委員会・女性部部长 佐藤 美智子



女性部は
何を…

みなさん、雪合戦大会で女性部は、何をしているか知ってるか？

名の協力をいただいています。

寒い会場で熱き戦いをしてる選手・応援・観客のみなさんに心よりのおもてなしをさせていただくことが女性部の役割です。

雪合戦鍋のあゆみ

第1回大会く豚汁を無料で

第3回大会く豚汁有料で販売

第12回大会くチゲ鍋を販売

第15回大会を記念して特別な鍋開発を

と、協賛会社より素材の提供をいただき、すり身を丸めて雪球をイメージ化オリジナルの鍋料理として「雪合戦鍋」の誕生、雪合戦大会の名物鍋として定着、好評をいただいています。

参加選手のみなさんから「雪合戦鍋を食べて始めて雪合戦大会に参加したと実感」の声に、女性部一同、やる気をいただき、みなさんに愛される雪合

戦鍋を提供できることを喜びとして頑張っています。

鍋づくりから販売まで

2月24日 午前9時から保健センター調理室で、鍋の材料野菜切り（11名参加）。午後1時から、すり身のボール作り・会場搬入の物品確認・鍋の煮込み（18名参加）

2月25日 午前7時から調理室から会場への物品移動後、会場で諸準備・販売開始（10名参加）。昼過ぎに完売。調理室で使用器具の洗浄作業。

2月26日 飲み物販売（4名参加）

大会役員等の昼食接待 25・26日（13名参加）

課題解決みんなで継続を

私は第1回大会から参加していますが、コロナ禍で4年ぶりの開催、協力団体の高齢化が年々進行中。若い方のみなさんの協力が必要と考える日々。壮瞥で生まれた雪合戦、全国から参加してくださるみなさんにお礼を兼ねてボランティア活動に参加、町民のみなさんの協力参加で、未永く雪合戦大会が続くことを祈念します。

編集後記

一般的に「縄文時代は争いのない時代」と言われるが、最近の縄文遺跡の研究では、争いの存在をほのめかす人骨の発見もあるということだ。

喧嘩や争いの原因は、ほんの些細なきっかけで始まるが多く、その発端となり得るのがストレスであると言われている。

ストレスが原因で感情が不安定となり、他人に八つ当たりする。最初は個人間の争いであつたものが、大きな争いへと繋がり、やがて戦争に発展する。

それは現代にも通じるものがある。領土拡大という欲望で、ストレスを常に抱える大陸国家ロシア。隣国を簡単に占領できると軍事侵攻したもの、西側諸国の猛反発を受け、世界を巻き込んだ終わりの見えない紛争状態でストレスが続いている。

一方で、縄文人は狩猟採取の生活を行っていたことで、天候次第で食料不足が発生するというストレスを常に抱え、日々を過ごしていたようだ。食料さえ十分に確保出来れば、争いやストレスのない平和な生活を営んでいただろう縄文時代が、やっぱりつらやましい。

(T. M)

いますか。

例年、実行委員会からの協力依頼の内容は、

①雪合戦鍋の準備・作成・販売

②甘酒の販売（酒粕を現地で甘酒に）

③飲み物の販売

④大会役員・ボランティアの昼食接待

⑤歓迎レセプションの準備等

ですが、コロナ禍のため今年は4年ぶりの開催で、規模も縮小、②と⑤はありませんでした。

女性部は、壮女連・商工会女性部・あかね会・一般のボランティアで約60